

宮城県角田市の災害廃棄物の受入実績と各種測定結果

1 受入実績

受入月	受入量 (ト)
1月	145.90
2月	215.25
3月	134.84
合計	495.99

2 受入時の空間放射線量率測定結果

(総合環境センター受入時における全車両の測定結果)

受入期間	車両の空間放射線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)		バックグラウンド ($\mu\text{Sv/h}$)
	最小値	最大値	
1月22日(水)～ 3月13日(金)	0.04	0.06	0.04～0.07

※ 総合環境センター計量棟(入口側)に常設の放射線量計測装置による測定結果。

3 放射性セシウム濃度

採取場所：秋田市総合環境センター

採取日：令和2年2月28日

項目	セシウム134			セシウム137			
	分析結果	検出下限	基準値	分析結果	検出下限	基準値	
飛灰(Bq/kg)	検出下限値以下	9.0	8,000 ※2	38	9.7	8,000 ※2	
スラグ(Bq/kg)	検出下限値以下	7.1	100 ※3	検出下限値以下	8.6	100 ※3	
メタル(Bq/kg)	検出下限値以下	6.0	100 ※3	検出下限値以下	4.4	100 ※3	
無機排水(Bq/L)	検出下限値以下	0.77	60 ※2	3.5	0.89	90 ※2	
末端放流水(Bq/L)	検出下限値以下	0.70	60 ※2	検出下限値以下	0.71	90 ※2	
排ガス (Bq/m ³) ※1	ろ紙部	不検出	0.37	—	不検出	0.32	—
	ドレン部	不検出	0.83	—	不検出	0.92	—
	測定口	1.2	—	20 ※2	1.2	—	30 ※2
濃度限度に対する割合:0.10(基準値:1)							

※1 ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー(平成4年文部科学省)に準拠。
排ガスの測定口の数値は、ろ紙部とドレン部を合計した数値。不検出の場合は、検出下限値を合計する。

※2 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法施行規則(平成23年環境省令第33号)による。

※3 東日本大震災により生じた災害廃棄物の広域処理に関する方法等(平成24年4月17日環境省告示第76号)による。